

令和5年度 第1回鹿児島市小・中学校連携研修会

授業研究（ 6 ）年生 記録

司会（〇〇 〇〇）【 桜洲小学校 】 記録（〇〇 〇〇）【 桜洲小学校 】

主体的に学び、心身ともにたくましい児童生徒の育成
～ 円滑な接続のための小中連携の在り方 ～

【協議の柱】

- 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくりはどうだったか。

【授業者反省】

○計算の中でタブレットを有効的に使用することができないか。

○シンキングツールを活用して、自分たちで考え方を分ける

→考え方の意識が高まったのではないか。

○話し合う場面では手引きを活用した。

→手引きがあることで、安心して話し合いができる工夫を行った。

【質疑応答】

○タブレットを友達に向けて説明することができていた。

○ロイロノートを使いこなしている。

○色分け、数の関係を図式化することができる。

○文章から問題を作れない児童生徒が多くいる現状がある。

○ロイロノートの使い方指導していることは？

→使い方は指導していない。初めての時は見本を示す。1個示すと児童が使えるようになっている。

○終末に「初級」「中級」「上級」と練習問題を準備しておりよかった。普段からしているか？

→基本は教科書・巻末課題・ナビマの活用。今回は初めて準備。今後使っていきたい。

○タブレットの使い方の指導方法（十か条）

→昨年度の児童総会で完成。十か条の見直しを今回の児童総会で話し合う。

タブレットがある目的の再確認。あくまでも児童が主体。使い方がルーズになってきている。

○手書きとタブレットの使い分け

→板書で悩んだ。ロイロノートでは、単元ごとにノートを作成している。紙のノートが苦手な児童が自分の考えを意欲的にタブレットに記入している。色付きでもすぐに消せる。テスト前の復習でタブレットと教科書を確認させている。練習問題はノートに記入させている。

【指導主事からの講話】

○「主体的」「対話的」「深い学び」

→主体性は“児童自ら”選択することができる。

→対話性は話合いや自分の考えの説明ができる。

○式から図 図から説明 二段階がスムーズに流れていた。

○子供の思考の流れを分かりやすく説明している→価値つけていきたい。

○算数の言葉を用いて説明することができるようになればよい。

○タブレットの有用性を児童が分かっている。(共有性・即時性・保存性・修正が容易)

○児童同士が少人数グループでしっかりと話をしていた。

○話し合うことが目的にならないように

○聞く力ができている。(児童同士で、生徒と児童で) →言語活動が充実している。

○小学校での聞く態度の習慣が中学校でも活かされている。

○小学校、中学校がお互いを知り合うことが大切である。

○精選した持続可能な取組をしていく。話し合っていく。共通実践を決めて、効果的に活用していく。

令和5年度 第1回鹿児島市小・中学校連携研修会

特別支援教育 記録

司会 (○○ ○○) 【 桜州小 】 記録 (○○ ○○) 【 桜州小 】

主体的に学び、心身ともにたくましい児童生徒の育成
～ 円滑な接続のための小中連携の在り方 ～

1 特別支援教育の現状と課題

現状・課題

※ 記録については、個人情報もあり、掲載無し。

2 共通実践事項(案)

自立活動のアイデア共有,工夫を持ち寄る。1から2個持ち寄って共有する。

社会の中で適用出来るように

自立活動の実践の共有や紹介をする。

令和5年度 第1回鹿児島市小・中学校連携研修会

全体会 記録

司会 (○○ ○○) 【 桜洲小学校 】 記録 (○○○ ○○) 【 桜洲小学校 】

主体的に学び、心身ともにたくましい児童生徒の育成
～ 円滑な接続のための小中連携の在り方 ～

(2) 各分科会からの発表・共通事項

・学力向上・・・対話的な活動を深めるためのICT活用の効果的な活用

・生徒指導・・・不登校の現状(学習面からの不安)→メディアルール

安心メール・まなびポケットを活用し保護者への連絡

・特別指導・・・現在の課題 → 自立活動実践の共有

